

みちしるべを元に進める『まちそだて』



株式会社テダソチマ

福島県須賀川市

株式会社テダソチマの概要

企業理念

須賀川が子どもたちに夢を与え、ここに関わる人々が未来への大いなる希望を分かち合えるまちづくりの実践



テダソチマのHPはこちらから！

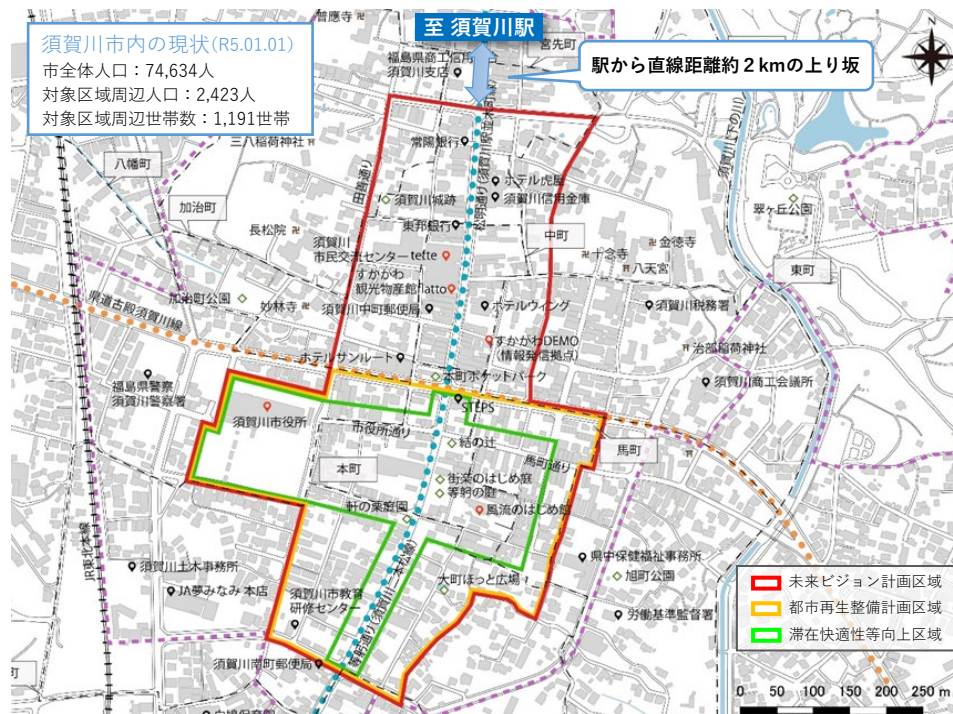
ビジョン

- ①空き家バンクの運営（移住促進による空き家の課題解決）
- ②居心地が良く歩きたくなるまちなかの創造（市街地内の未利用地の利活用）
- ③チャレンジしたくなる雰囲気づくり（空き店舗・遊休施設を活用した経営支援）

これまでの取り組み

年月	まちづくりの取り組み
令和元年 8月	(株)テダソチマ設立
令和元年12月	(株)テダソチマ 都市再生推進法人指定
令和3年 1月	・(株)テダソチマと須賀川市が空き家バンク運営協定を締結 ・須賀川南部地区エリアプラットフォーム設立
令和4年 3月	・ビッグデータを活用した旅客周遊分析の採択・実施 ・未来ビジョン『みちしるべ』策定
令和5年 3月	・所有者不明土地に関するモデル事業の採択・実施 ・経済産業省補助事業の採択・実施（リノベーション）

活動エリア（未来ビジョン計画対象区域）



主な取り組み

1 空き家バンク「イエソダテ」事業

収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地

■ 空き家情報の一元化とマッチング

(株)テダソチマでは須賀川市から空き家バンク事業を受託し、須賀川市空き家バンク「イエソダテ」を運営をしています。

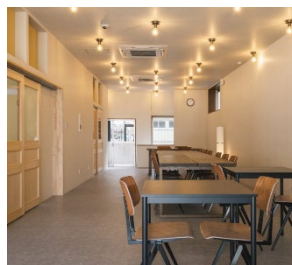


2 リノベーション事業

収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地

■ コワーキングスペースの整備

かつて文具店であった空き家をリノベーションし、須賀川市における、新たな交流・コミュニティ形成・イベント企画・情報発信、ワークスペースとして、2022年4月9日にオープンしました。



3 広場利活用事業

収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地

■ ウォークブル推進税制の活用

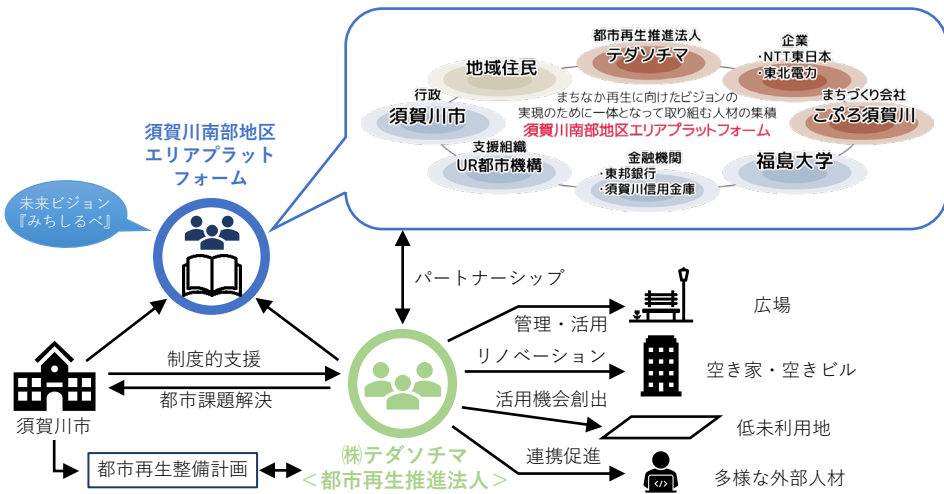
「風流のはじめ館」の前庭に隣接する民有敷地を(株)テダソチマが主体となって防災機能を有したイベント空間・貸しスペースとして整備・活用しています。



官民連携まちづくりの推進

国土交通省の補助事業「官民連携まちなか再生推進事業」を活用し、産官学民金など多様なステークホルダーによる「須賀川南部地区エリアプラットフォーム」を令和3年1月に立ち上げ、未来ビジョン『みちしるべ』の作成や未来ビジョン実現のための取り組みを実践しています。

官民連携による事業推進体制



未来ビジョン『みちしるべ』

令和3年度末に策定した未来ビジョン『みちしるべ』では、つなぐ・つむぐをコンセプトに、人と社会、人と場、人と環境をつなぐ「10のみちしるべ」を示しています。

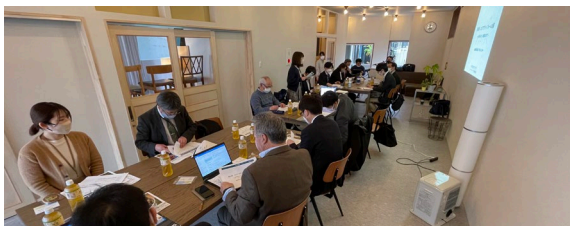


須賀川南部地区エリアプラットフォームの取り組み

1 官民連携プラットフォームの場の運営

■ エリアプラットフォーム会議の実施

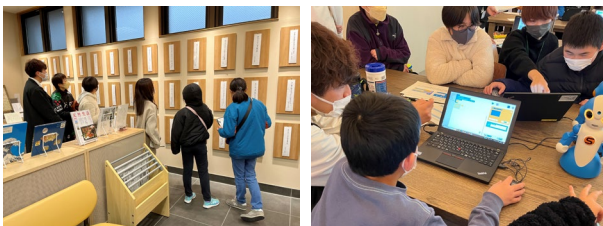
年に4回会議を実施し、知識の研鑽と併せて課題の精査を行うことで、アクションプランの改善やアップデートに活かしています。



2 デジタル人材の育成事業

■ 小学生を対象としたプログラミング教室の実施

まち歩きで発見した“須賀川の魅力”をロボットである「Sota」にプログラミングし、須賀川を紹介するオリジナルロボットを作成しました。



3 安心安全のまちなか形成事業

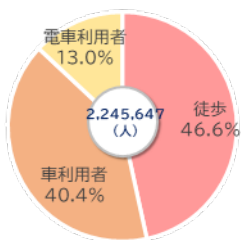
■ 歴史文化の街灯り景観形成実験の実施

照明デザイナーと連携し、石畳や軒行灯の歴史風情にマッチした仮設照明を設置し、夜間も安心安全で居心地の良い空間を形成する実証実験を実施しました。



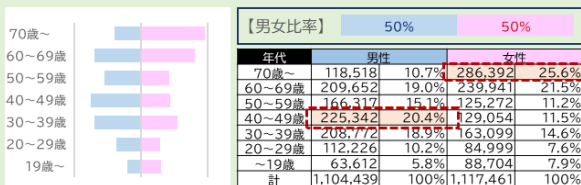
ビッグデータ活用による旅客流動分析 実証実験事業（国交省事業）

NTTタウンページ協力の元、須賀川南部地区におけるGPSデータに基づいた利用者属性や行動パターン等の人流データと、キャッシュレス決済データに基づく消費分析を実施しました。
また、未来ビジョン『みちしるべ』のお披露目のほか、本事業の結果報告をフォーラムとして行いました。



人流データ

■ 須賀川南部地区における滞在者数(混雑統計⑧)



テナントミックス事業（経産省事業）

中心市街地に位置する空きビル1階の内装工事や8基のブース制作を実施し、だれもが「チャレンジ」できる場として「マチソダテベース」をオープンしました。オープン前には出展希望者とWSを実施し、場のコンセプトや情報発信方法などを検討しました。創業に興味のある人がチャレンジしたいと思える環境の創造や、中心市街地全体の回遊性の構造を目指しています。



「マチソダテベース」の様子



WSの様子



「マチソダテベース」の情報はここから！

所有者不明土地対策モデル調査（国交省事業）

未来ビジョン『みちしるべ』に掲げる「点在・分散している低未利用地や青空駐車場の集約化、または隣接している民有地間の一体的利用を図る」という目標の実現に向けた初動の活動として、以下の内容を実施しました。

- ①現地踏査や空き地カルテの作成といった低未利用地の実態把握
- ②行政・地域の土地専門家（土業等）との勉強会実施など所有者不明土地対策に向けた機運醸成
- ③都市再生特別措置法との関連性整理



勉強会の様子



弘前大学
北原特任教授による
基調講演

今年度の取り組み

1 DXを活用したアプリ開発事業

■ 高校生を対象としたアプリ開発プロジェクトの実施

地域で暮らす人たちが普段の生活の中で諦めていることや我慢していることを“ワガママ”として可視化し、地域の人たちと連携しながらデジタルを活用して地域課題を解決するアプリの開発に挑戦します。



2 まちづくりDX交流拠点の整備事業

■ DX×交流の場「須賀川ラボ」の整備

NTT東日本須賀川営業所の一部を改修し、地域住民や就業者等が交流しながら、先端技術を体験することができる場「須賀川ラボ」を整備します。



3 都市再生推進法人としての業務

■ 都市再生整備計画の提案

現在須賀川市では「須賀川南部地区都市再生整備計画」が策定されており、様々な賑わい創出活動を実施してきましたが、未来ビジョン対象区域である中部地区は対象外となっています。そこで、都市再生推進法人である(株)テダソチマとして「須賀川中部地区都市再生整備計画」を提案し、中部地区にも都市再生整備計画区域と滞在快適性等向上区域を設定することで、より円滑なまちづくりの推進を目指します。